

東田利町報

昭和53年1月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1・15日発行



明けまして
おめでとう
ございまして

No 271

1/1

謹んで新年の御祝詞を申し上げます



年頭の御挨拶

町長 小松 栄男

昭和五十三年の新春を例年になく厳肅な気持ちで迎える。全国的な不況、豊作の喜びも束の間、第二次の米作の減反に対する農村の沈滞した空気の中で新年を迎えた。



長 小松 栄男
町 況は、経済成長が世界的にアンバラ

ンスになったことが原因であって、回復には時間がかかることになるだろう。

水田総合利用政策は十年間の長期政策であって、この間に米の需給を調整し、不足している農産物の生産を増そうとするものである。ではあるが、土地条件の整備、栽培技術や流通の問題、農政の推移に対しての信頼度等で、スムーズに行ける政策ではないと承知しながら、これを推進しなければならぬ中に今、行政がある。

が、これと同じように輸出の制限、輸入市場のオープンに圧力がかけている。この国際的な外圧が、我々の生活——農業社会にも端的に影響し、毎日のニュースに一喜一憂する昨今である。

善、農村環境整備と農業施策の各事業のレベルは数かれており、土木建設事業も国、県、町とそれぞれ計画が立っている。予算の受皿は十分に整っている。

昭和五十三年は禍いを転じて福となす努力をし、同時に、福祉、保健施策、教育行政を充実推進して、町政の発展に最大限の努力を致したいと考えております。

新年にあたり、皆様の御健勝と御発展を祈念するとともに、町政への御協力をお願い申し上げ御挨拶と致します。

我々が経験したことのない未曾有の暖かい冬。夜間に降って日中に晴れる時雨は、土建業者にとっては喜ばしい年の瀬であったが、毎日のニュースは、円高による中小企業の倒産を伝えている。



長 沢 毅
議 員 追いついて打
沢 ちをかける様に二
〇〇〇年

新年を迎えて

議長 長 沢 毅

題による水産業界の不振、それに農家に対する減反政策の強化、等々、昨年は暗いニュースだけに終始した感じがしないわけでもありません。

特に、減反政策の強化は我が町と私たちの生活に大きな影響を及ぼすところ

るであります。役場当局も「食糧法・護持」のためという錦の御旗の前には、異議の唱えようもなく屈服するばかりはなかったと言えます。

ほ場整備で休耕している間はある程度我慢ができるが、終了した後はどうなることでしょうか。本場に、今こそ我々は「ふんどしを締めなおして」はつきりした転作物を選定しなければならないと考え

ます。小手先の一時しのぎではどうにもならない時がきたのです。

新規開田の禁止があるにもかかわらず、何らの指導もせず無為に過ぎた関係機関の手抜きがあったことを、大いに自戒せねばならないと考えます。

しかし、悪いことの続いた後には良いことがあると言う古人の訓えを期待して、「午年」の飛躍に期待しましょう。

年頭にあたり

教育委員長 佐藤 松之助



長 佐藤 松之助
員 果たして、
委 望どおり
員 望どおり
の年にな
のかど

新年おめでとうございます。いつも、年頭にあたっては「今こそは明るいよい年であるように」と祈る

うか、不安でなりません。

昨今の、円高、不況という我が国の経済情勢が、いつになつたら好転するの心配でなりません。このことが、政治的、社会的に大きく影響して、ここ当分は明るくよい年にはなかなかなりそうにないような気がしますので、早く好転することを願ってやみません。

さて、学校教育については、本年度は文部省が先に告示した新しい学習指導要領による教育活動移行の年であり

ます。その学校教育改善には三つの大きな柱がありますが、そのうち特に最大の眼目は「ゆとりのある、しかも豊かな充実した学校生活」を創造することであろうと思います。そして、一人一人の児童生徒が生き生きと学習に取り組むことができるように、各学校で創意工夫することが強く求められております。

本年度は、各学校の教職員がこのことを念頭におき、着実に実践できるように研修努力されることを望んでおります。それが本町の教育水準の向上につ

ながるものと期待しております。

昨年は、町民運動場の完成、宿小學校プールの開設、総合開発センターのオープン等、町民の社会教育活動の場保健活動の場が拡充されました。それに県派遣の社会教育主事が配置されました。

このように、我が町も物的・人的に生涯教育推進の好材料が充実してきました。公民館活動を中軸としてこれらの施設設備を大いに活用し、飛躍的発展の年になるよう努力してまいりたいと思ひます。

働く喜び

寺田 小松ヒデ子



皆様、新年おめでとうございませう。

こそは「と考えること、それは「皆健康であってほしい」これが一番の願いです。

ほつぺをまっ赤にして無心に遊ぶ子どもの姿——私は幼い時病気のため、母を失いました——今、長男がその年齢になろうとしています。健康——それは人間にとって大きな「財産」だと思っています。

働くことで得た友だち、そして失った職場、楽しい思い出もたくさんあります。

昨年は良い天候に恵まれ、農家の人たちは皆笑顔でした。でも目に入るのは「不景気」の三字だけです。天候に左右される農業、農業だけでは暮らすことのできない現状。私たちは生きるため、生活をするために食糧を作るのです。「作るな!!」と言われても、作らざるを得ないのです。

増産運動から減反政策への急激な政策転換。農業構造改善事業のため、私の家のまわりの風景も大きく変貌しました。道路は良くなり、大型機械だけが活躍しそうな大きな田、経験者たちの苦労話など……心配だらけの農業です。

でも、大自然の中で働ける喜

び、これは都会では味わうことのできない大きな喜びだと思えます。

健康で働ける喜び、物を作り出す喜び、今年も精いっぱいがんばりたい。

生産調整に

袖山 畠山 秀夫



明けましておめでとうございませう。

昨年は、農家にとつて冷害等で心配された年でしたが、全国的にみれば大豊作と言われ、また、減反等で試験の年でもありました。

顧みますと、昭和三十九年度から四十五年度まで実施した「秋田県健康な稲作り運動」があり、また、七五〇の取りとも言われ、本県稲作の経営安定と生産性の向上に大きな成果をあげてきました。

しかし、昭和四十五年度から米の生産過剰を背景として生産調整が実施され、また、食糧消費も多様化高度化してきたので、これらの変化に即応して、稲作偏重の生産体制から畜産、野菜、果樹等の成長作目への拡大、推進となりました。

私たちも、これに対応して農地造成を行い、葉たばこ栽培をしました。初年度だけに収穫も少なかったが、今年こそは「と組合員一同期待を寄せています。しかし、これにも減反がないわけ

ではないのです。

だが、食糧管理法堅持のために、私たちは基幹作目である稲作と畜産物、野菜、果樹等の成長作目の生産拡大を図り、農産物を総合的に供給できる生産体制を整備するとともに、東田利発展のために町民の皆さんといっしょに、この生産調整に対処していきたいものです。

新年に思う

野田 阿部 佑子

明けましておめでとうございませう。

毎年の如く年頭には、今年こそは「と抱負満々でスタートするのだが、今まで一度として貫

「転作せよ」とのことらしい。

転作となると、米作よりはどうしても手がかる。

寄せてくる不況ムードで、田植え、稲刈りで休むのさえビクビクしているというのに、これ以上社会を休めるはずがない。一町歩足らずの田んぼ。それも基盤整備され三反区画になっている。どこにどうやって転作できるのか。皆の力でなんとかならないものかと腹立しくなってくる。

五十三年も何かと厳しい年のようだが、私の生まれ年でもあるし、色々な会合に進んで参加し、自分に少しづつ磨きをかけながらゴールインしたいと思っている。

わたしの賀状

徹したことのない自分である。

米作りの合間に勤めに出るのか、勤めのかたわらの米作りなのか、自分でもわからないような忙しい毎日。一方では農作業もそこそこに、我先と出かせぎに出る。



出かせぎをなくして、明るいくらしを。なんて我々一町歩百姓には縁遠い話。豊作と喜んだものの、政府は余り米として米価を安く押さえる。仕方がないといふ値いで我慢したもの。今年は大幅な減反とか。それも

になるだけで、借金が早く消え、病気は早く治るような気がするから不思議である。

ここに、「心の健康」という大きな問題が潜んでいるようである。心の健康——それは「心の豊かさ」にも通じるものではないか。豊かさは、物が有り金があれば心が豊かになると考えがちだが、そうではないと思う。

たとえば、今は福祉制度が発達して、老人は年金がもらえ、家族が老後のめんどうをみなくても、国や県が老人ホームなる施設でめんどうをみてくれる。生活そのものには支障はないだろうが、老人の心のどこかに家族と暮らしたい、子どものそばで暮らしたい、という気持ちがあろうである。

また、ある大学教授と青年との会話の中で、教授が「妥協」ということばをどう解釈するかという問いに、青年は「敗北」と答えた。

多様化された現代の社会に、自分の主張はどんな手段でも勝ち取ろうとする「妥協のない心の貧しさ」と、物（施設）と金（年金）を与えれば老後が幸せであるとする「行政の心の貧しさ」があるのではなからうか。ゆえに、「心の豊かさ」の追求にこそ、人間社会の幸せがあるような気がしてならない。

景気の飛躍を望む

宇戸坂 佐藤 栄子

今年は午年、景気飛躍の年でありたい。

石油シヨ

ツク以来、



国鉄、電話、郵便等公共料金を始めとする諸物の高騰が続く、不況の波は私たち庶民にじわじわと押し寄せて参りました。

人々の生活は、「消費は美徳なり」の華やかな時代から、節約沈滞ムードの暗いイメージとなり、また、企業倒産による中高年齢者の失業、若者の就職難等時代が反映するそれぞれの姿でありましょうか。

でも、今年が午年。ちなみに「午」という字を辞典でひいてみたら、方角は南方、時刻で昼の十二時、とありました。これにより、私は昔からよく言われている「午年の豊作」ということが、何かしらうなずけるような感じが致しました。

また、今でこそ機械化が進み「馬」は農耕には殆んど使われておりませんが、昔は戦争に使われるなど、数ある動物の中で最も価値ある動物として、長い人間に親しまれ、現代においても縁起のよいものとしていろいろな馬をあしらった置物等もあるほどです。

こうして見る時、私は良いことには大いに縁起をかつぎ、春駒が不況を蹴とばして景気が大きく飛躍し、みんなが明るく豊かに、安心して暮らせる社会になりますことを年頭において望んでおります。

役場第二庁舎が完成

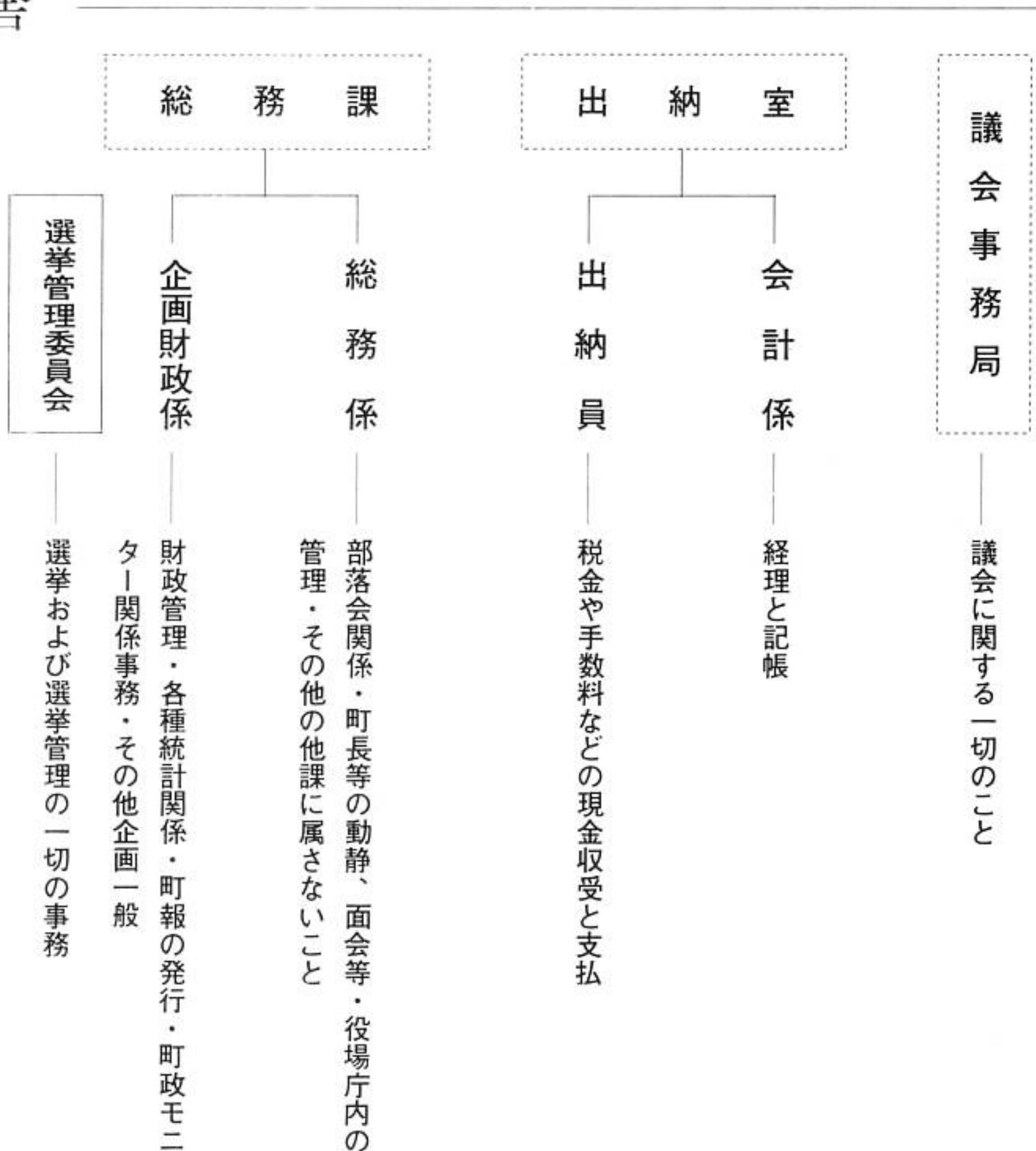
産経・建設両課の事務室に

十月から建設がすすめられていた役場第二庁舎が、先ごろ完成しました。これは、各種建設事業やほ場整備、構造改善事業など仕事量の増加に伴い、役場庁舎が狭隘になったために増築したもので、一階は事務室、二階は小会議室と日本間になっています。第二庁舎は、現庁舎（本庁舎）の東側に建てられ、産業経済課（農業委員会、出稼相談所を含む）と建設課が十二月十九日から執務しています。

なお、これによって現庁舎事務室の並びにも多少異動がありましたので、役場においての際はまちがえないようにしてください。以下、役場の事務分掌をお知らせします。

務 分 掌

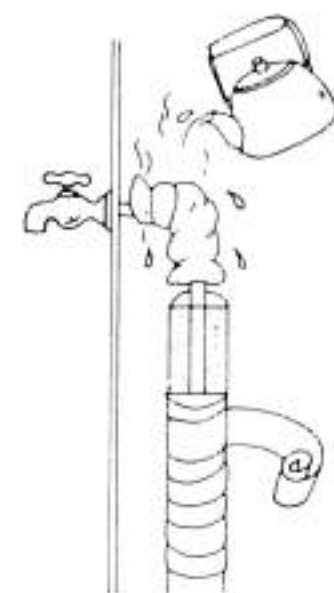
本庁舎



水道の凍結にご用心!!

解凍作業は有料です

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなるこれからは、水道の凍結が心配です。



気温がマイナス四度以下になると、水道が凍ったり破裂したりします。とくに、じゃ口や水道管の立ち上りの部分に多いものです。それぞれの家庭では不凍給水せんや水抜きせんの取扱いに十分注意して凍結を防いでください。

水道管にタオルをかぶせ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけて解かします。（右の図のように）

急に熱湯をかけると、水道管やじゃ口が破裂することがありますので、注意してください。

この不凍式給水せん、水抜きせんは、水道を使わない時に凍結しやすい部分の水を抜いて凍らせないようにするものです。ですから、水を抜き忘れたり、完全に抜けていなかったりすると、その効果はありません。

どうしても解かすことができない場合には、役場水道係にご連絡ください。

《それでも、もし凍らせてしまったら…》

電話は 二二一〇番です。ただし、作業は有料です。



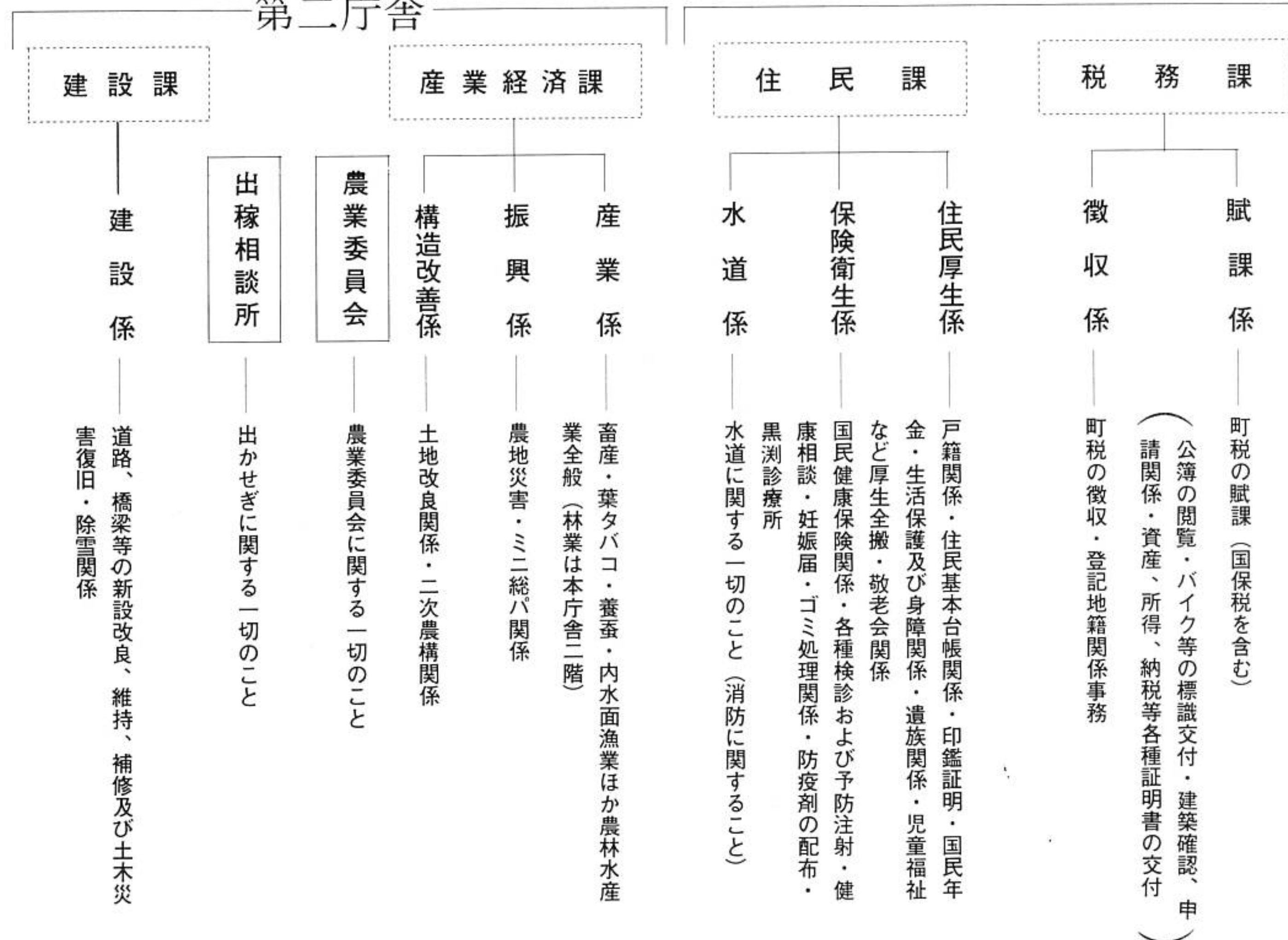
表紙のことば

明けましておめでとうございます。昨年、日本全体が不況や物価高などに揺れ、何となく不安定な一年でした。そんな

中で本町においては、町民皆様の深いご理解により懸案事項を着実に完成させ、町政は確実な歩みが続けています。昭和五十三年も順次大型事業の導入を計画していますので、皆様の一層のご理解とご協力をいただきたいと存じます。年頭にあたり、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。（写真は、養田橋から八塩山を望む）

役場の事

第二庁舎

還付を受けるための
申告はお早めに

昭和五十二年分所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日までです。

しかし、還付を受けるための確定申告は一月から受付けていますので、源泉徴収された税金や予定納税をした税金が納め過ぎになっている人は、早く申告すれば税金の還付も早く受けられます。

確定申告書に添付しなければならぬ書類や、書き方などではわからないことがあります。最寄りの税務署、または税務相談室へお気軽にお尋ねください。

確定申告をする人は、①サラリーマンで雑損控除、医療費控除、住宅取得控除(初年度)などを受けることのできる人。②年中途で退職し、その後就職しなかったため、年末調整を受けなかった人。③特定の寄付金を支出して、寄付金控除が受けられる人。④原稿料や利子、配当などの収入があつて、それらを含めた全体の収入があまり多くない人。⑤予定納税をしていた人が、休業や廃業などのため所得が前年より大幅に減った人。などです。

一滴

先日、交通事故の記録映画を見たという知人から、その映画の内容についての話を聞いた。

以前に、私も二・三回交通事故の映画をみたこともあつて、話を聞いていたうちにあの生々しい、痛々しい映像が、手に取るように伝わってきた。

この種の記録映画は、交通事故の恐ろしさを教訓づける意図をもって作成されているので、見た人の誰ひとりとして、万一、あの登場人物が自分や自分の家族だったら、——たいへんなことだ——と思うにちがいない。

人間、こんな姿にはなりたくない——と思うときは、なんとなく身がひき縮まる思いがするもの——その気持ちを大切に、忘れないようにしたいものである。

「つい」とか、「うっかりして」などと言っても、事故が起きてからでは遅すぎます。これからは雪の季節——今年の春からこれまでの間に自動車の運転免許を取得した人にとっては、はじめての雪道、十分に注意したいもの。初心者に限らず、車の運転にはくれぐれも注意し明るい正月を——

一般 十五億九千百万円台に

十二月定例議会

小学校問題の「特別委員会」設置

町議会第七回定例会は、去る十二月十七日に召集されました。

会議は、会期を同日から二十日までの六日間と決定したあと、四千八百六十六万二千円に及ぶ一般会計補正予算を審議し、原案どおりに可決。続いて、昭和五十一年度東田利町歳入歳出（一般会計・特別会計）決算と、昭和五十一年度東田利町米財産区特別会計歳入歳出決算の認定二件を上程、審査を総務常任委員会に付託（各常任委員会との連合審査で会期五日目まで審査）して、日程第一日目を終了しました。

会期最終日の二十二日は、昭和五十一年度決算の審査内容について小松豊総務委員長から報告がなされ、満場一致で認定されました。続いて「朋楽荘の付属建物について」など、各関係常任委員会に付託されていた陳情（八件）の処理について各委員長から報告があり、五件が採択されました。

このあと、一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など五議案が追加提案され、いずれも原案どおりに可決し全日程を終え閉会しました。

なお、大平スキー場のヒュッテ新設など今回陳情された三件については、いずれも関係常任委員会に付託され、継続審議されることになりました。

可決された案件

▽昭和五十一年度町一般会計補正予算（第六号）

一般会計の歳入歳出のそれぞれに四千八百六十六万二千円を追加し、それぞれの予算総額を十五億八千六百五十一万一千円にしたもので、歳出補正の主な内容は次のとおり。

●老人医療費及び福祉医療費 四百五十一万三千円 ●保育所

五千円 ●本荘地区消防事務組合負担金二百三十三万四千円 ●公民館ボイラー室工事費等二百四十二万円 など。

▽国民健康保険条例の一部を改正する条例

条例中、第六条（一部負担金を削除するもの）。

▽第二次農業構造改善事業計画における土地改良事業の施行について

南ノ沢、金森沢、水無地区農地造成改良事業および板戸地区ほ場整備事業を実施するもの。

▽一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院の勧告に基づき、国家

公務員の給与法が改正されたのに準じ、町一般職の職員の給与及び手当を改正したもので、四月一日に遡及して適用される。

▽教育委員会教育長の給与および勤務時間等に関する条例の一部改正について

一般職の職員の給与改正にあわせて、現行月額二十万四千円を四月に遡り二十三万四千円とし、十二月からは諸手当の一部を削除したうえで、二十五万円に改正したもの。

▽昭和五十一年度町一般会計補正予算（第七号）

町の一般職の職員等の給与改正に伴うもので、歳入歳出のそれぞれに一千七百七十八万八千円を

追加し、それぞれの総額を十五億九千八百八十二万九千円にしたもの。

▽昭和五十一年度町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第二号）

職員の給与改正に伴うもので歳入歳出のそれぞれに八十四万九千円を追加し、それぞれの総額を三億四千四百二十六万五千円にしたもの。

▽昭和五十一年度町簡易水道事業特別会計補正予算（第二号）

職員の給与改正に伴うもので歳入歳出のそれぞれに十七万円を追加し、それぞれの総額を二千二百二十二万三千円にしたもの。

質問一般

四議員が当局の姿勢ただす



長期総合計画 農業振興など質問

長谷山二郎議員

〔質問〕長期総合計画について伺いたい。①計画策定の基本理念は何か。②計画の柱は教育と産業振興と思うが、どう考えるか。③住民参加（住民の指導、啓蒙）はどう具体化するのか。

町長 町としては長期的総合開発計画を策定し、国・県の各種事業導入に際しても、この計画の基本に添って計画的な行政運営を図るために必要で

あり、そうした行政需用から策定するものである。したがって、住民の指導や啓蒙という精神面より実務面にウエイトを置いている。

〔質問〕農家経営の複合化に伴う複合作目の選定と内容の充実について伺いたい。①産業振興協議会は活動がないので、これに代る専門的な委員会方式のものをつくってはどうか。②葉タバコ販売高の一億円未達成に対

する所見を（行政的テコ入れが不足したのでは）。③葉タバコの生産調整は一律減反ではないと聞くが、本町には割り当てられている。これをどう受けとめるか。④繁殖素牛の導入を島根牛に決定した根拠は何か。⑤家畜市場の動向がすぐわかるような体制ができていないか。⑥島根牛の導入は農家の希望が多いので、事業を繰りあげて実施する気はないか。⑦町内産の優良牛にキメ細かな保留対策を。

町長 ①産業振興協議会は農業総合指導センターの発足によって活動がない現実にある。今後はセンターを中心に充実

一月の停電

1月10日
9時30分～13時 舟打場の一部
1月11日
9時～12時 上通・新町・横小路・老方小学校・上里・榎マルテ・秋田付近
1月19日
9時～15時 野田・新処・十二の前・桂台・小倉・中の沢・高村・岩館
1月25日
9時～15時 下通・寺田・湯出野・茂沢・祝沢

電話異動のお知らせ

加入者氏名	設置場所	異動の種類	電話番号
東由利中学 校寄宿舎	跡見坂	改番 (ピンク)	3511
小松誠二	館合新田	改番	2058
藤原新一	岩館	改場 番変	2048
遠藤正男 (法内集落農場組合)	新処	改番	2049
小松三代三	上里	場変	2161
大日向貞弘	横小路	譲受	3025
佐藤義治郎	〃	〃	3100
小松操	上里	新設	3107

電話帳(52年10月発行)の訂正

	(正)	(誤)
公共機関等	獣医 3236	2236
下通	小野米作	小野米松
大琴	島倉松	畑山倉松
大琴	高橋幸年	高橋高年
新町	佐々木源治郎	2343
	小松長四郎	上通 横小路

町長 単に経済運動の面からだけではなく、農村における「生きがい」という面からもとらえてみたい。

〔質問〕不況打開を図ろうとする政府の十五か月予算は、本町にもその波及が期待できると思うが、①現職員体制で対応できるのか。②導入された事業を町

内業者が町内の労働力で施行できるような配慮するべきでないか。③年々大型事業の導入が予想されるので、その事業が施行できるよう、町内業者の企業統合を行政指導するべきでないか。

町長 ①現職員で対応できるかという懸念はあるが、事業の執行には影響のないよう配慮する。②業者の体制と能力は十分と言えないが、そうした配慮は持っている。③業者の統合による規模の拡大には、人間関係や技術のバランスなど難しい問題があるが、今後を考えて何らかの方向を持ちたい。

〔質問〕工業振興の具体策が示めされていないので、行政の中に推進委員会を設置するべきでないか。

町長 労働力を町内にとどめておくためにも、「推進委員会」的な方向のことを具体化したい。

〔質問〕長期総合計画の教育振興および対策について伺いたい。

町長 ①計画の中で五十三年度は何があるか。②計画について当局、議会、教育委員会の三者合同会議を速急に開く考えはないか。③「解決可能な学校統合を図る」と言うが、蔵、老方両校は可能で、他校は不可能なのか。④「解決可能」とは、どんな条件を備えておれば可能なのか。



小学校問題

藤原虎之助 議員

町長 ①明年度に小学校の新築等の計画はない。②現段階では計画の検討がすすんでいないのでできないが、合同会議は当然開催する。③客観的に見た統合の可能、不可能を言っている。④具体化は住民の納得が第一の条件であり、教育効果の向上も考えなければならぬ。

水田利用再編など
3項目を問う

阿部 剛 議員

〔質問〕水田利用再編に対する基本姿勢について伺いたい。①配分は農家個々に行うのか。②自己開田の取扱いと面積の把握はどうするのか。③農家にどのような方法で理解と協力を求めるのか。④転作作目の選定と産

町長 質問の各項については、十二月二十三日の水田利用再編対策協議会の結果を待つて結論を出すことになる。

〔質問〕各小学校校舎は老朽し年々危険度が増している。これ

を図りたい。②専売公社との接解もよく行っており、行政的なテコ入れが不足であったとは考えない。③既成のものには一律減反であったが、本町には二次農構で二〇分の増反が認められている。⑥計画の一〇〇頭導入にはこだわらず、農家の希望に応えたい。

⑦町内の保留対策が極端に遅れているとは考えない。

産経課長 ④県の専門家と相談し体質や体系、飼育管理等を調査比較の上で決定した。⑤家畜市場の動向は、農協を通

して指導センターに情報が入るようになっていく。

〔質問〕①長根谷地放牧場は草が老化しており、更新が必要でないか。②同放牧場開設にあたり、地元住民との間に道路の新設および代替地等の約束があり、まだ実現されていないと聞くがどうなのか。

町長 ①草地の更新は専門的に調査させる。②指摘の内容を調査させ行政の責任を明らかにし、実情に即した解決を図りたい。

職員の言動など
七項目に質問

小松 豊 議員

〔質問〕建設事業等で、職員が自分の判断だけで約束し、結果約束が果たされなかったことがあり、これからの予想されるのでこうしたことのないように。

町長 職員の言動と責任については庁内に十分に徹底させる。

〔質問〕減額補正を要する人の名義で余剰米を出荷した人と、名義を貸した人に対する課税はどうなっているのか。

税務課長 自分名義で出荷した他人の米にまで課税されると

町長 町単独の設置には、現在の共済連等の家畜診療体制の中で、うまく機能できるかという疑問がある。やはり現体制を増強する方向で解消していくべき問題と考える。町はその中で協力していく。

町長 町単独の設置には、現在の共済連等の家畜診療体制の中で、うまく機能できるかという疑問がある。やはり現体制を増強する方向で解消していくべき問題と考える。町はその中で協力していく。

況を公表

全”に括る

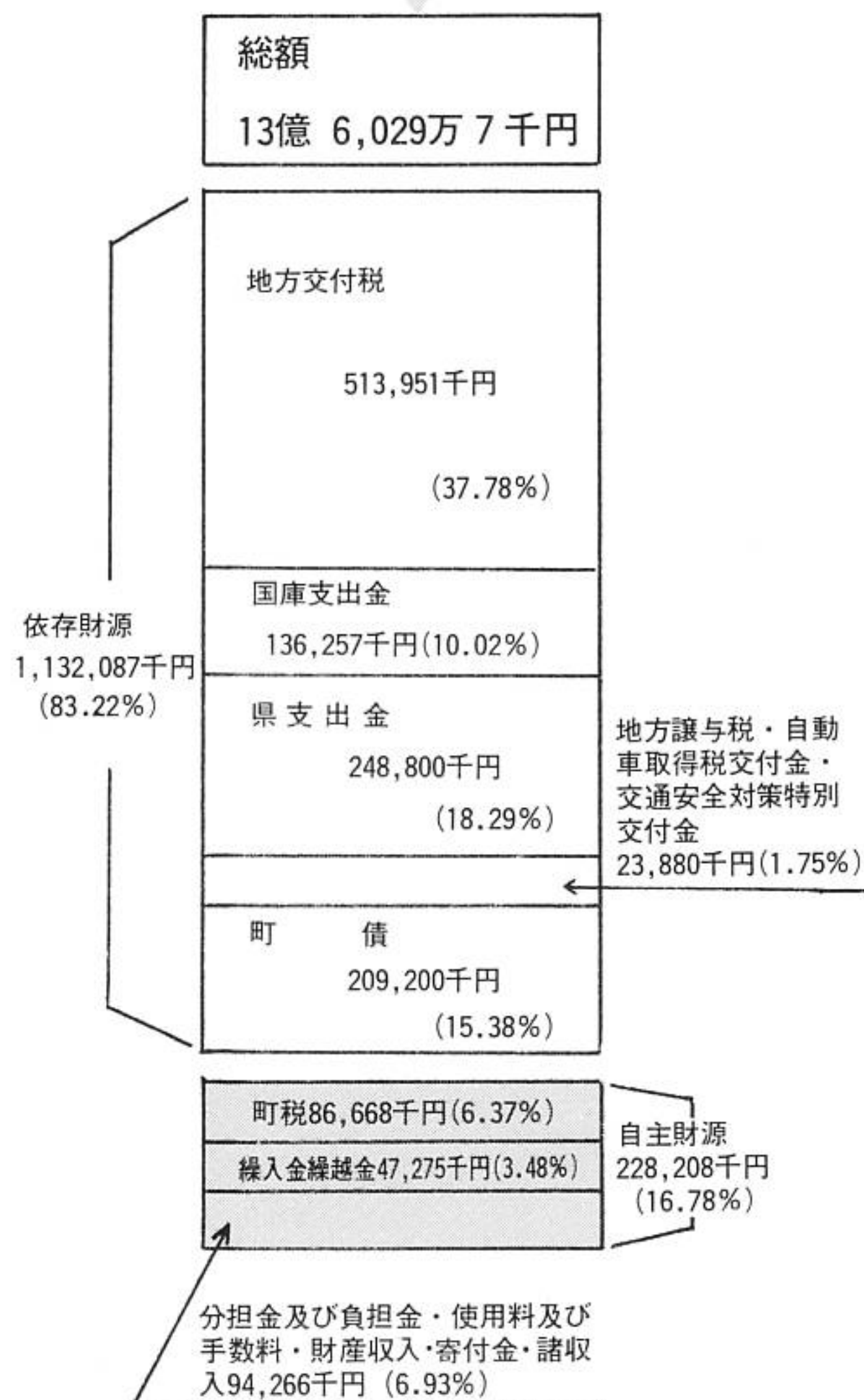
昭和51年度の町一般会計および各特別会計の決算については、昨年8月15日発行の町報262号でその概要を紹介したところですが、去る12月17日から同22日までの6日間にわたって開催された町議会12月定例会で、議会の認定を受け承認されましたので、その内容をお知らせします。

東由利町告示第12号

財政報告書の作成及び公表に関する条例（昭和三十一年条例第二十号）に基づき財政状況を、次のとおり公表する。

昭和52年12月24日
東由利町長 小松栄男

歳入



●厳しい財政でしたが……

重点的に事業をすすめました

昭和51年度の一般会計と4つの特別会計の決算が承認されました。昨年度のわが国の経済は、引き続き不況の中、ゆるやかな回復の兆しを示しながらも依然として冷え込んだ状況にあり、自主財源の乏しい本町財政もその影響を受け、前年度（50年度）と同様に厳しい財政運営を強いられました。しかし、予算編成段階から歳入歳出とも健全に見込みまた、執行中も歳入の不納、欠損や歳出の膨張に極力配意したことと、前年度に引き続き節約努力を行うなど、厳しく財政運用に努めたこともあって、歳入歳出差引額 5,941万 3 千円を昭和52年度に繰り越してしめくることができました。

一般会計では、歳入は伸び悩みが心配されましたが、町民のみなさんのご協力によって町税を99.9%収納できたのをはじめ、各項目とも順調に収入され、最終的には前年度を13%—2億 1,369万 6 千円—上回る13億 6,029万 7 千円になっています。

また、町の借入金となる起債については、景気浮揚対策として国が打ち出した臨時市町村道整備事業債 3,000万円を借入して町道の整備改良に役立てました。

一方、歳出においては、人件費や物件費などの消費的経費は極力節減し、ほ場整備を中心とする農業生産基盤の整備や道路の新設、改良を中心とする生活環境の整備を主軸に、福祉、教育、産業等の振興のために財源を重点的に充当できるように配意しました。この結果、普通建設事業費に充てられた投資的経費は4億 6,700万円を越え、全体の35.9%を示しています。

しかしながら、国・地方公共団体を問わず、いま盛んに財政構造の硬直化が論じられています。本町でも年ごとに義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の占める割合が高くなり、反対に投資的経費の占める割合が低くなる、いわゆる“財政の硬直化”が進行している事実は見逃すことができません。このことは、石油危機以来全国的な傾向とは言え、今後の財政運営上の大きな課題ですので、昭和52年度以降の行財政運営には長期的な見通しの上に立って一層配意し、万全を期していく方針です。

決算審査報告（概要）

代表監査委員 長谷山理一郎

一般会計

財政の推移——決算は歳入歳出差引額五、九四一萬二、四九八円の繰越金を生じており、五十一年度予算が厳しい財政環境下で編成されたにもかかわらず、適正な財政運営を図り、あらゆる制度の活用により財源確保に努力されたものと思われ、誠に喜ばしい。今後一段と努力を重ね、一層効果的な予算執行に留意し健全財政を維持されたい。

財政収支の状況——投資的事業の構成比四九・四四、前年比一〇・四四の積極予算の運営にもかかわらず黒字を維持できたのは、収支の均衡に留意し、適切な計画のもとに財政運営を行ったと認められる。今後、厳しい経済動向が地方財政に与える影響を適確に把握し、弾力的な財政運営ができるよう配意していただきたい。

財政の運営——一般的にみて健全であり、適切と認められた。歳入に小額の未収があったのは遺憾である。一〇〇歳入達成のため一層の努力を望みたい。歳出は、前年に比べて消費的経費の割合を抑え、投資的経費の割合が上回っており、執行部の町政への意欲が認められた。

特別会計——各特別会計とも財政運営は健全であり、黒字で翌年に引き継ぐことができたことは喜ばしい。

一般会計、各特別会計とも歳入歳出帳簿および記書類を照合して審査したが、計数の誤りや非違の経理は発見できなかったもので適正な決算と認定しました。

参考意見

大琴診療所について——医師の常時配置を目標に新築された大琴診療所は、医師の常時配置はなく、週二回の来診もその後一回になり、地域には来診回数の増加等を望む声が多い。診療所機能の向上に努力されたい。

環境衛生対策について——ハエの発生は各家庭の悩みの種である。一斉防除等強力な行政指導を期待したい。

職員の超過勤務について——事業の複雑化、事務量の増大等によって職員の超過勤務が多くなっているが、健康管理や他職員とのバランスを考えた場合、命令の仕方、機構、組織、事務分掌に再検討が必要と思われる。

特別会計の状況

国民健康保険特別会計

(単位千円)

歳 入		歳 出	
款	収入額	款	支出額
国民健康保険税	89,853	総務費	8,046
使用料及び手数料	43	保険給付費	259,944
国庫支出金	181,486	保健施設費	5,074
県支出金	990	基金積立金	3,280
財産収入	3,352	公債費	399
繰入金	24,240	諸支出金	136
繰越金	3,343	予備費	0
諸収入	1,251		
歳入合計	304,558	歳出合計	276,879

黒瀨診療所特別会計

(単位千円)

歳 入		歳 出	
款	収入額	款	支出額
使用料及び手数料	458	総務費	1,330
国庫支出金	719	医業費	398
繰入金	500	諸支出金	0
繰越金	160	予備費	0
歳入合計	1,837	歳出合計	1,728

簡易水道特別会計

(単位千円)

歳 入		歳 出	
款	収入額	款	支出額
事業収入	15,061	総務費	10,581
財産収入	126	公債費	6,231
繰入金	1,750	予備費	0
繰越金	3,885		
諸収入	90		
分担金及び負担金	278		
歳入合計	21,190	歳出合計	16,812

玉米財産区特別会計

(単位千円)

歳 入		歳 出	
款	収入額	款	支出額
財産収入	189	管理会費	637
繰越金	4,532	総務費	24
		諸支出金	342
		予備費	0
歳入合計	4,721	歳出合計	1,003

昭和51年度の町財政状

各会計とも「健

歳 出

総 額

13億88万 4 千円

議 会 費

23,529千円



議会議員の報酬や旅費、職員の給料や旅費など。

総 務 費

180,354千円



役場で使われる一般消耗品や燃料費、備品のほか、町報発行、統計、選挙、財産管理費、積立金など。

民 生 費

106,404千円



福祉医療費、いこいの家管理費、保育所事業補助、児童手当交付金のほか、年金、老人クラブ助成、福祉バス運行費など。

衛 生 費

31,299千円



循環器検診、母子栄養食品の支給、レントゲン検診、塵芥処理事業、胃・子宮ガン検診のほか、火葬場運営費など。

労 働 費

4,336千円



出かせぎ対策援護費など。

農林水産業費

321,224千円



山村開発センター建築費、特用林産物生産振興費、造林費、集落農場化整備費のほか、ほ場整備、農道改良、畜産振興費など。

商 工 費

1,575千円



町商工会補助のほか、商工業育成補助、観光開発など。

土 木 費

171,104千円



杉森林道開設、蔵上里線改良、下吹線改良舗装などをはじめとする道路橋梁の新設、改良、舗装費のほか、冬期交通対策費など。

消 防 費

54,210千円



局所防災、防火水槽整備、小型ポンプ付積載車購入のほか、広域消防事務組合負担金など。

教 育 費

178,019千円



学校プール整備、町民運動場整備のほか、各学校の施設・教材費、公民館活動費など。

災害復旧費

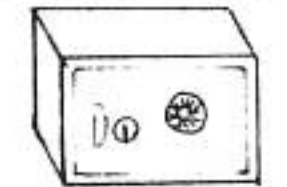
175,595千円



林業施設災害、農業用施設災害、農地災害復旧、道路橋梁災害復旧、河川災害復旧費など。

公 債 費

51,060千円



町が借りたお金の元金と利子。

諸 支 出 金

2,175千円



土地開発公社償還金ほか。

昭和52年度

(4月～9月)

東由利町の財政

上半期
財政報告公表

一般会計
一億九千
七百万円を追加

昭和五十二年上半期(四月一日から九月三十日まで)の町財政の概況を報告します。

昭和五十二年一般会計の当初予算は、歳入歳出とも十二億八千八百七十六万四千円でしたが、その後、四回にわたって一億九千七百七十六万六千円が補正され、九月末日現在では十四億八千六百四十三万円になっています。

この予算のうち、四月から九月までの収支状況を見ますと、予算額に対して歳入は四十二・四%が収入済。また、歳出では三十五・八%がすでに支払われています。

歳入の状況

四月から九月までの、総収入額は六億三千七百三十三千円でこのうち、一番大きな割合を占めているのが地方交付税の四億四百七十七万円です。

この地方交付税には、普通交付税と特別交付税の二種類があり、普通交付税は、収入が足りなくて一定水準の行政運営ができない地方公共団体と収入の多いところの格差をなくして、

予算額に対する収入済額の状況

総額



予算額 1,486,430千円

収入済額 630,733千円

(42.4%)

繰入金



予算額 70,876千円

収入済額 32,183千円

(45.4%)

町税



予算額 82,787千円

収入済額 56,515千円

(68.3%)

繰越金



予算額 56,581千円

収入済額 59,413千円

(105.0%)

地方交付税



予算額 509,382千円

収入済額 404,770千円

(79.5%)

町債



予算額 209,200千円

収入済額 1,200千円

(0.6%)

国庫支出金



予算額 130,111千円

収入済額 21,095千円

(16.2%)

その他の収入



予算額 112,730千円

収入済額 29,297千円

(26.0%)

県支出金



予算額 314,763千円

収入済額 26,260千円

(8.3%)

公債現在高

669,002千円

大蔵省

380,800千円

郵政省

74,396千円

金融公庫

97,500千円

その他

116,306千円

町有財産

基金 220,737千円

財政調整基金 151,492千円
国保財政調整基金 43,578千円
簡易水道財政調整基金 4,267千円
土地開発基金 20,000千円
中小企業振興基金 1,000千円
国民年金基金 400千円

土地

6,979,000ha
(うち山林 1,262,937ha)

建物

24,628㎡

有価証券

1,443千円

出資による権利

4,684千円

自動車・ブルドーザ等

21台

町有財産

どこの地方公共団体でも一定水準以上の行政ができるように国が交付するもので、特別交付税は災害などの特殊事情があるところに交付されます。

なお、次いで繰越金の五千九百四十一万三千円、町税の五千六百五十一万五千円、繰入金の三千二百八十八万三千円、県支出金の二千六百二十六万円、国庫支出金の二千九百九万五千円の順になっており、全体では予算額の四十二・四割が収入済になっています。

歳出の状況

四月から九月までには五億三千六百七十七万九千円が支出されています。

支出にあたっては、限られたお金を効果的に用いて町民生活を豊かにするための公共施設の整備（道路の改良舗装、開発センターの建設、災害復旧事業など）をはじめ、農業の生産基盤の整備や住民福祉の向上、教育の振興など住みよい町づくりを目ざした事業が、各方面で着々とすすめられています。

また、今年度に予定された建設事業の約八割は九月までに発注され、その後の発注も順調にすすんでいます。

なお、款項別の支出済額の割合は、教育費の五十二・五割を最高に公債費、消防費、諸支出金の順で五十割を越えており、次いで民生費、議会費、総務費と続いています。農林水産業費や土木費などの建設事業費の支出がまだであるため、全体では三十五・八割になっています。

予算額に対する 支出額の状況

総 額

予 算 額	1,486,430千円
支出済額	531,679千円 (35.8%)

土木費

予 算 額	180,849千円
支出済額	39,976千円 (22.1%)

消防費

予 算 額	71,994千円
支出済額	37,029千円 (51.4%)

教育費

予 算 額	158,440千円
支出済額	83,128千円 (52.5%)

災 害 復旧費

予 算 額	151,327千円
支出済額	42,334千円 (28.0%)

公債費

予 算 額	67,650千円
支出済額	35,249千円 (52.1%)

諸支出金

予 算 額	2,077千円
支出済額	1,047千円 (50.4%)

予備費

予 算 額	4,000千円
支出済額	0千円 (0%)

議会費

予 算 額	26,102千円
支出済額	12,743千円 (48.8%)

総務費

予 算 額	167,785千円
支出済額	74,557千円 (44.4%)

民生費

予 算 額	110,256千円
支出済額	54,791千円 (49.7%)

衛生費

予 算 額	45,355千円
支出済額	12,461千円 (27.5%)

労働費

予 算 額	4,615千円
支出済額	384千円 (8.3%)

農林水 産業費

予 算 額	494,594千円
支出済額	137,467千円 (27.8%)

商工費

予 算 額	1,386千円
支出済額	513千円 (37.0%)

玉 米 財 産 区

特 別 会 計

◎	735千円
収入済額	3,766千円
支出済額	125千円



簡易水道事業

特 別 会 計

◎	21,053千円
収入済額	12,512千円
支出済額	6,030千円



黒 淵 診 療 所

特 別 会 計

◎	1,945千円
収入済額	761千円
支出済額	751千円



国民健康保険

特 別 会 計

◎	343,416千円
収入済額	120,384千円
支出済額	107,499千円



特別会計の状況

(◎印は予算額)

町民のひろば



この欄は町民のみなさんのものです。ご意見や話題、写真などを提供してください。
なお、本紙にあなたの写っている写真があれば差し上げます。(広報係)

全国大会で第四位に

佐藤由喜江さん 定通生徒で 体験発表

滋賀県に就職して、働きながら定時制高校に通っている本町地下の沢出身の佐藤由喜江さん(房蔵さん二女)は、去る十一月十九日に東京虎の門の国立教育会館で行われた、第二十五回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会で、全国各都道府県の地方ブロックを勝ちぬいてきた五十八人の中から、堂々第四位(読売新聞社賞)に輝きました。

由喜江さんは、昨年の春に東由利中学校を卒業してオームケンシ(株)彦根工場に就職、働きながらオームケンシ彦根高等女学院で学んでいます。

生活体験を「剣道と私」と題した由喜江さんは、七月五日の校内大会、十月九日の西日本大会で優勝し、その余勢をかって十月二十三日の近畿地区大会をも制覇、全国大会に出場してこの栄光をつかんだものです。
発表の「剣道と私」は、私



賞状を手に喜びの由喜江さん

温泉病院 職員を募集

本荘市由利郡医師会立温泉研究所附属本荘病院では、次により職員を募集しています。

- ▽職種 理学療法士一名 看護婦・准看護婦若干名
- ▽採用時期 昭和53年1月以降

面接の上決定

- ▽応募手続き (1)履歴書、身上書各一通(自筆)、(2)上半身写真(最近六か月以内撮影)(3)健康診断書、を持参または郵送で次へ。

本荘市出戸町字堤脇30 社団法人本荘市由利郡医師会立温泉研究所附属本荘病院 宛
※書類審査の上、面接日を通知する。

▽待遇等 当病院規定によって初任給、諸手当、賞与等を支給するほか、各種年金保険制度がある。白衣、予防衣貸与看護婦宿舎完備。

慶弔

11月21日〜12月20日



誕生
おめでとう

大庭優子 舟木 幸夫 長女
阿部重宏 蔵新田 重一郎 長男



結婚
おしあわせに

小笠原 裕 子均 大蔵新田
佐々木 裕 子均 大蔵新田
工藤 真市 高 村
千葉 志和子 中 沢
小野 重信 八日 町
長谷山 貞子 八日 町

島山 茂子 祝館合新田
小野 愛子 福島宿
西本 幸子 五海保倉
遠藤 幸男 小海保倉
菊地 佐美子 下 小
小松 善子 下 小
小松 知子 下 小

お悔み申し上げます
遠藤キチノ 新処 85歳
阿部ノブエ 蔵 84歳
佐々木正名 大琴 80歳

年始も
戸じまりは
しつかりと!

電気・電話の 引込線に注意!!

毎年、冬の間は雪降しなどでちよつとした不注意から、各家庭への電気や電話の引込線を切るといふ事故が多く発生しています。

雪降しの際には、電気や電話の引込線には雪を投げないようにしてください。また、子どものタコあげなどは電線や電話線のないところでさせるようにしましょう。もし、万一電線や電話線にひっかかったときには、自分で電柱に登ったりすることなく、すぐ東北電力または電報電話局にお知らせ下さい。

ねを から 阿部系記さん (民芸品細工)



忙しがいので、なかなか熱中する時間が持てなくて……と、岩館の阿部系記さん。
阿部さんは、かつて農作業時の雨具としてよく使われた蓑(ケラ)や腰巾(はばき)などの「ミニチュア」に、名前や飾りなどを入れたものを作って楽しんでる人のひとり。

蓑などは昔はよく作ったものだが、最近では使うこともなくなり、ほんの遊びのつもりで作ったのが、このミニチュア版を作るようになったキツカとか。

一年ほど前から、蓑や腰巾のほかにワラ製の「たから船」も作

東由利町報

昭和53年1月15日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1・15日発行



営農メモ

畜産

◇牛舎に透き間風が入らないように

牛は比較的寒さに強い動物ですが、透き間風は牛の体に非常に堪えます。特に仔牛のいる農家では注意しましょう。

◇牛の体をよく観察しましょう

冬期間は出かせぎ等で、通常牛の世話をしている人のいない家庭が多いので、牛の体をよく観察し、異常を発見した時には知識のある人に相談するようにしましょう。

◇牛の運動は適切に

冬の間はとく運動不足になりがちです。ので、天気の良い日を見計らって牛を運動場に出すなどして、健康の保持に努めることが大切です。

◇粗飼料生産基盤の確保を

去年一年をふりかえって、一頭あたり良質粗飼料をどれくらい給与できたか、また給与時期にムラがなかったかなどを反省しながら、比較的余裕のある冬の間に今年の粗飼料確保のおおまかな構想をたてましょう。これから増頭しようとする人には特に大切なことです。

(東由利町農業総合指導センター)

No 272

1/15

自立経営と地域農業の確立を

第二次農業構造改善事業

南部地区は53年度の事業開始メドに

一次農構の 成果をふまえて

昭和四十年から三か年にわた

って実施された第一次農業構造改善事業（一次農構）では、生産基盤の整備として八十一・三のほ場整備が行われたほか、拡大作目には乳牛と養蚕が導入されその振興が図られました。

二次農構は、この一次農構の

成果をふまえて行われるものでほ場整備のほか、大型機械の導入による稲作の機械化一貫体系の確立、拡大作目の導入が行われることになっています。

稲作の省力化で 拡大作目を導入

町内の農家では、ほ場条件の整備等によって稲作経営は年々大型機械化がすすんでいます。

町では、「自立経営農家の育成」と「地域農業の確立」を目ざして、現在「第二次農業構造改善事業」（二次農構）をすすめています。それでは、この二次農構とはいったい「何か」「何をするのか」、その概要を紹介します。

しかし、農家個々での機械化近代化にはおのずと限度があるとともに、それによって生ずる余剰労働力を農業内で燃焼できない場合が多いのが現実であり、これらは総じて「過剰投資」と呼ばれており、その前途には憂慮するものがあります。

これに歯止めをかけようとするのがこの二次農構で、地域別に営農集団を組織し機械機材の高度利用を図るとともに、機械化一貫体系の確立により稲作経営の徹底省力化をすすめる、余剰労働力の集中によって拡大作目の導入を可能にし、農家所得の向上を図るものです。

各営農集団は、個々にその立地条件に適した拡大作目の導入によって自立経営を可能にし、特色ある地域農業の確立を目指しています。

事業は

三ブロックに分けて

二次農構は、蔵地区を最北に老方、館合、田代、黒瀬の各地区を北部、中部、南部の三ブロックに分けて事業を実施するもので、北部および中部地区は四か年計画で今年度から事業が始められています。

また、南部地区は昭和五十三年度の事業着手を目ざして、現在事務作業をすすめています。全体計画は別表のとおりですが、北部地区と中部地区の今年度の事業経過と五十三年度の実施計画および南部地区の計画概要は次のとおりです。

北部地区

53年度は

ライスセンターを

北部地区は米プラス肉用牛を主要作目に、蔵営農組合（二十六戸）、宮上営農組合（九戸）、老方営農組合（十七戸）、養田館営農組合（十七戸）の四営農集団が組織されています。

今年度は町が事業主体となり小田地区ほ場整備十・七が実施されたほか、トラクター六台（蔵一三台、宮上二台、老方一台）、田植機六台（蔵一六台）が導入されました。

また、五十三年度では自脱型コンバイン八台（蔵一三台、宮上三台、老方二台）、農機具格納庫四棟（各営農組合が一棟ずつ）、トラクター三台（老方一三台）、田植機一台（宮上一台）が導入されるほか、個人で畜舎二棟、肉用素牛導入二十頭が計画されており、東田利農協が事業主体で二、〇〇〇級ライスセンター一棟の建設も予定されています。

中部地区

53年度に

タバコ畑を造成

中部地区は米プラス葉タバコを主要作目に、館合営農組合（十戸）、山崎営農組合（十戸）、松柴営農組合（十七戸）の三営農集団が組織されているほか、農事組合法人松柴タバコ生産組合（十戸）も組織されています。

今年度はトラクター五台（館合一二台、山崎一三台）、田植機一台（山崎一台）が導入されました。

五十三年度はトラクター二台（館合一台、山崎一台）、農機具格納庫一棟（館合一棟）のほか、松柴タバコ生産組合でタバコ育苗施設一棟、タバコ管理機およびタバコ移植機各

一滴

元旦の夜から二日朝にかけて見る夢が初夢—あなたの今年の初夢は何でしたか。昔は、娯楽の種類も少なかったもので、正月の初夢はどこの家でも二日朝の話題になったようである。

初夢にどんな夢を見たらよいのか、一般に言われるのが「一富士、二鷹、三茄子」である。この由来には諸説があるが、その一つは徳川家康がまだ駿府（静岡市）の城にいたころ、ある日三保に遊びに行った時、まだ四月なのにナスが実っていたので、珍しいから買って帰ろうと思いついたが、茄子も高いものだ—と言ったのが始まりだという。

もっと一般的な話としては、富士は霊山のうえ日本一高い山だし、鷹はたいへん強い鳥でめったに負けない、茄子は「成す」に通ずるから三つともめでたいものばかり、それを初夢に見ることは大変縁起がいいという説がある。

何となく、こじつけくさい話であるが、こじつけであつてもいいから今年こそ「夢」でなく、明るくよい一年になつてほしいものである。



拡大作目の導入により複合経営が図られる。

昭和五十三年度からは、水田利用再編対策により大幅な転作が強いられるという農政の推移の中で、本町においても水田単作の農業経営からの脱皮は大きな課題です。それだけにこの二次農構の円滑な推進が強力に要請されるところです。

南部地区は米プラス葉タバコと肉用牛を主要作目に事業を実施する計画で、須郷田、時雨山、田代、黒淵の四営農組合と、ふたば、石高の二集落農場組合が組織されているほか、農事組合法人八塩タバコ生産組合が組織されており、五十三年度からの事業実施を目ざしています。

米プラス葉タバコで 53年度から実施

また、町が事業主体となり田の沢地区（松柴）の農地造成（タバコ畑）十畝と板戸地区ほ場整備十一畝も予定されています。

五台、トラクター一台を導入する計画です。



ほ場整備後には機械化一貫体制の確立

第二次農業構造改善事業全体計画

53.1.1現在

	北部地区	中部地区	南部地区
営農集団	・蔵営農組合（蔵・蔵新田） ・宮上営農組合（宮の前・上里） ・老方営農組合（新町・上通・中通・下通・横小路） ・養田館営農組合（寺田・湯出野・茂沢）	・館合営農組合（宇戸坂・館西下小路・家の下・八日町） ・山崎営農組合（五海保・久保・山崎） ・松柴営農組合（松柴） ・松柴タバコ生産組合（農事組合法人）	・須郷田営農組合（須郷田・館合新田） ・ふたば集落農場組合（高戸屋・下小屋） ・時雨山営農組合（時雨山） ・田代営農組合（田代） ・石高集落農場組合（石高） ・黒淵営農組合（黒淵・津沢・地下の沢・泡の淵） ・八塩タバコ生産組合（農事組合法人）
形体	米プラス肉用牛	米プラス葉タバコ	米プラス葉タバコ・肉用牛
事業（施設・設備）の概要	ほ場整備（小田地区） 10.7ha 田植機 13台 自脱コンバイン 12台 トラクター 13台 農機具格納庫 4棟 ライスセンター 1棟 畜舎（個人） 4棟 肉用素牛（個人） 40頭	農地造成（タバコ畑） 10ha ほ場整備（板戸地区） 11ha 田植機 9台 自脱コンバイン 10台 トラクター 9台 農機具格納庫 1棟 タバコ育苗施設 1棟 タバコ乾燥調整施設 9棟 タバコ補助乾燥棟（パイプハウス） 30棟 タバコ管理機・移植機・収穫機 5セット	農地造成（タバコ畑） 10ha 自脱コンバイン 15台 田植機 6台 トラクター 9台 農機具格納庫 6棟 タバコ育苗施設 1棟 タバコ乾燥調整施設 11棟 タバコ補助乾燥棟（パイプハウス） 23棟 タバコ管理機・移植機 各11台 タバコ編機 10台 畜舎（個人） 2棟 肉用素牛（個人） 20頭

一層の精進を誓う

町消防団出初め式盛會に

新春恒例の町消防団出初め式は、今年も一月六日に東由利中学校体育館に開催され、消防団員、婦人消防隊、東由利分署員など総勢約三百五十人のほか、町議会議員など多数の来賓が出

席し、無火災への誓いを新たにしました。式は君が代の斉唱で始まり、観閲につづいて告示に立った町長は「……消防団員は町民の中心として個人の研鑽はもちろんのこと、団体として十分な連携をとりながら住民生活の安定に寄与してほしい……」と要請しました。

つづいて、九十三個人と二婦人消防団に表彰状および感謝状が贈られたあと、町議会議員、由利福祉事務所長、本庄警察署長のお祝いと激励のことばがあり、受賞者を代表して第五分団の梅津栄一さんが「……今後とも幹部を中心に消防精神を発揮し、町民の財産と生命を守るために精進する覚悟です……」と力強く答辞をのべました。

佐藤団長の答辞のあと、最後は全員で万歳を三唱して出初め式は盛會のうちに終了しました。

なお、受賞者の氏名等は次のとおり。（内は所属分団等）

「知事表彰」▽有功章 梅津栄一（五）遠藤繁（二）小野長光（五）▽25年勤続 畠山俊哉（五）▽20年勤続 小松勉（一）佐々木善一郎（五）

金太郎（三）畠山乙美（三）畠山秀夫（五）大場惣七（二）畠山節雄（五）小野孝一郎（三）小松正武（二）工藤隆（本部）▽精勤章（10年以上）小松惣一（一）畠山長助（二）小松賢悦（二）小松勘三（二）高橋重四郎（二）遠藤正司（四）阿部勝治（四）大日向淳男（四）太田久（四）阿部善孝（四）佐々木喜一（三）小野幸夫（三）畠山与一（一）佐々木英徳（五）

「町長表彰」▽模範団員 佐藤与一（一）小松賢悦（二）小松俊博（二）小松義嗣（二）畠山乙美（三）遠藤誠喜（四）阿部賢男（四）大日向淳男（四）梅津嘉人（五）鈴木文一（五）

「団長表彰」▽甲種精勤章 鈴木富男（五）小野真一（五）鈴木昇（二）古閑喜一郎（二）高橋誠一（二）大庭幸夫（五）大庭時晴（五）大庭喜一郎（五）阿部春悦（四）小野源一（四）遠藤正悦（四）遠藤利通（四）工藤実（四）阿部義夫（四）宮塚菊雄（三）加藤清一（三）遠藤典（二）長谷山清志（三）小松利和（三）▽乙種精勤章 工藤一郎（二）小笠原豊和（四）小野保（一）畑山喜広（二）小松操一（四）

「消防協会支部長感謝状」▽退職団員 畠山富男（前副団長）太田千代三（同）▽消防協力団体 舟木婦人消防クラブ・蔵新田婦人消防クラブ

「町長感謝状」畠山富男（前副団長）太田千代三（同）小松安雄（前分団長）

「消防庁長官表彰」▽退職団員 畠山富男・太田千代三・小松安雄・菊地義一・工藤秀悦・佐藤万一・小松蔵三・小野安男・木島賢一・阿部堅治郎・佐々木正男・大庭周弥・畠山清・佐藤秀也・小松忠一・小松良一・佐藤万助・高橋貞一郎・高橋忠一・佐々木寿一・真田竹二郎・木島与一郎・小野祐喜（敬称略）



紙の表
ことば

風——最近では市販されているものばかりで、手製のものが見られなくなりました。ですから、飛ばして遊ぶこと

は覚えていても風のつくり方は知らないのが、現代っ子の大部分です。一月八日、玉来小学校体育館で約四十組の親子が参加して「親と子の風づくり教室」が開かれました。湯沢市の本田鉄蔵さんの指導で、親と子がいっしょになって「風づくり」に楽しい一日を過ごしました。



町の概要

人口総数	6,516人
うち男	3,193人
うち女	3,323人
世帯数	1,479戸
面積	148.51km ²
	(53. 1. 1)

小野広子さん (由利高) 一席に

本荘由利六高校弁論大会で

第二十四回本荘由利六高校弁論大会は、昨年十一月二十五日に由利工業高校体育館で行われ、本荘市由利郡内の六高校(本荘高、由利高、由利工業高、西目農高、矢島高、仁賀保高)からの代表十四名が参加し、勢いを競い合いました。

結果、本町出身で由利高校一年の小野広子さん(時雨山)が、みごと第一席を獲得しました。



賞状を手に喜びの小野広子さん

広子さんは、演題を「加害者も被害者」と題し、小学生のときの交通事故の経験を通して「……交通事故の加害者は単なる加害者ではなく心に傷を受けた被害者でもある。私たちの住む

社会をより平和な社会にするためにも、私たちは決して被害者であってははいけません。そしてまた加害者であつてもいけない……」と、交通事故の絶滅を訴えたものです。

また、この大会では広子さんのほかに、由利高校二年の長谷山寿満子さん(湯出野)と西目農高二年の阿部

社福だより

故佐藤謙吉殿のご遺族(蔵佐藤幸雄さん)より、香典返しとして十万円が届けられました。どうもありがとうございます。故人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

善意

玉米小に雑巾百枚
松柴の小松チヨエさんは先ごろ、玉米小学校に雑巾一〇〇枚を贈り喜ばれています。

所得税の確定申告

説明会を開催

昭和五十二年分所得税の確定申告と納税の受付は二月十六日から始まります。

本荘税務署では、確定申告を前に誤りのない申告をしていたために、次により記載の方法

や注意点などについての説明会を開催します。

- 期日 二月二日(木)
- 時間 午後一時三十分から
- 場所 有鄰館

ねみだから 阿部涼雄さん (三味線)



始めたのはもう三十年以上も前のことです。途中で休んだこともあったが、続けていたよかったです……と語るのは、桂台の阿部涼雄さん。

阿部さんは、三味線を趣味としている人のひとりで、その音色にひかれて十五、六のころに母方のおじさんの手ほどきでバチを持ちはじめたのがキッカケとか。

時に参加している。何でもそうだと思うが、三味線も精進すればするほど技術の無限性を感じる。専門的なことはよくわからないが、無心に糸をはじいてみるとイヤなことがあつても忘れることができる。今ではもう生活の一部であり、歌うのは苦手だが、昔から私たちの最も身近にある民謡をこれから三味線で楽しみたい、と言う。

バス時刻表

1月10日改正

本 荘 行						
横手発	黒淵発	玉米発	老方発 登着	蔵 発	大琴発	本荘着
		6:45	6:48	6:54	7:01	7:50
	6:55	7:10	7:13	7:19	7:26	8:15
	8:15	8:30	8:33	8:39	8:46	9:35
急 7:45		9:01	9:04	9:09	9:15	9:55
		9:50	9:53	9:59	10:06	10:55
		11:35	11:38	11:44	11:51	12:40
急 11:10		12:26	12:29	12:34	12:40	13:20
	13:10	13:25	13:28	13:34	13:41	14:30
急 12:40		13:56	13:59	14:04	14:10	14:50
		15:00	15:03	15:09	15:16	16:05
急 15:30		16:46	16:49	16:54	17:00	17:40
	16:40	16:55	16:58	17:04	17:11	18:00
		17:25	17:28	17:34	17:41	18:30
16:55		18:17	18:20			
玉 米 ・ 黒 淵 ・ 横 手 行						
本荘発	大琴発	蔵 発	老方発	玉米発 登着	黒淵着	横手着
			7:15	7:18		8:40
6:40	7:29	7:36	7:42	7:45	8:00	
急 7:30	8:10	8:16	8:21	8:24		9:38
8:30	9:19	9:26	9:32	9:35		
10:05	10:54	11:01	11:07	11:10		
急 10:55	11:35	11:41	11:46	11:49		13:03
11:35	12:24	12:31	12:37	12:40	12:55	
急 12:30	13:10	13:16	13:21	13:24		14:38
13:50	14:39	14:46	14:52	14:55		
15:00	15:49	15:56	16:02	16:05	16:20	
急 15:40	16:20	16:26	16:31	16:34		17:48
15:55	16:44	16:51	16:57	17:00		
16:30	17:19	17:26	17:32	17:35	17:50	
17:40	18:29	18:36	18:42	18:45		